

## 『人生の先輩の生き方に学ぶ』 ～ 夢に向かって、一生踊り子 ～

講師 振付師 真島 茂樹 様

※ 体育のダンスの時間に練習してきたことを、本番前に確認しました。

グループ練習も熱心に♪  
合わせてみます♪

タイムリーに、19日今年の年末のNHK紅白歌合戦出場が発表されていました。真島さんは、そのお話からしてくださいました。

「17年前にNHKホールで踊った、マツケンサンバ2。昨日、紅白に出場することが発表されました！これも何かの縁です。

(1年生を前に)12, 3歳。一番夢の多い時ですね。一つ二つではなく、たくさんの夢を抱いていい時です。

松が峰幼稚園の時、「お遊戯、お上手ね」と言われた。小学生の時には、自宅で音楽に合わせて適当に踊っていた。それを見た親戚が「専門的にやらせてみたら？」と言ってくれた。それで(?)、バレエ教室に通った。男子は少なかったの、王子様で発表会に出場できることが嬉しかった。

小4の時、日劇で『春の踊り』を観た。男性舞踊がとてもカッコよかった！！その時、「日劇のダンスチームに行くんだ！」と心に決めた。その思いが強すぎて無茶なこともした。(自転車で一人で往復250kmを勝手に行き、東京の親戚のうちにまで行ってしまった。)

中卒で東京の音楽舞踊学校で3年間学んだ。⇒日劇を受験。「落ちたらどうしよう」という不安はあったが、合格できた。踊り三昧の日々を送った。

日劇のダンスチームで様々なことを学んだ。解散になって、TOLで2年踊っていた。その後、当方に戻ってミュージカルを学んだ。本場ブロードウェイの尊敬する先生方の振り付けを学ぶことができた。

ある時、松平健さんに声をかけられた。日劇の頃から見ていてくださったということだった。そこで「マツケンサンバ2」の曲を渡され、「振付をしてみない？」と話をいただき、初めて振付を考えた。曲を聞いた途端、次々に踊りが浮かんできた。『日劇風』ということで、着物を意識した振り付けを考えられたと思う。

体育館に入った一年生は、真島さんを迎え、大変元気なあいさつと返事ができました。ご講話を聞き、楽しく教えていただき、踊ることができました。



(踊りのご指導をいただき、踊った後で。最後に。)

「若い力を、エネルギーをもらったので、紅白にぶつけてきます！」という言葉をいただいた。